

# 世界に誇る伝統産業を 次の世代へ

長岡市長  
磯田 達伸



明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

上と後継者育成を目指し、平成23年に職人有志により発足した「越後与板打刃物匠会」と連携し、さまざまな活動に取り組んでおります。

昨年9月、東京インターナショナル・ギフト・ショーにおいて、会員が越後与板打刃物の伝統技術を用いて開発した新製品「チーズ削り鉋」を出品したところ、チーズを繊細に薄く削れることが高く評価され、国内外の多くのバイヤーや飲食関係者の目に留まりました。

長岡市与板地域で400年以上培われた越後与板打刃物は、戦国武将・上杉謙信を支えた四天王の一人、直江実綱が与板の地に刀剣師を連れてきたことが始まりと言われております。鑿・鉋を中心とした大工道具に姿を変えた現在も、地域の誇りとして大切に継承されております。鍛接・鍛造技術により造られる刃物の切れ味の鋭さには定評があり、職人から一般のユーザーまで、幅広く愛用されております。

長岡市は、越後与板打刃物のさらなるブランド力向

で開催される恒例の展示会

「鍛冶職人・打刃物の世界」では、製品の使用体験を取り入れるなど、多くの方から越後与板打刃物の高い品質に直に触れていただき、その魅力と新たな可能性を発信してまいります。

後継者の育成においては「地域おこし協力隊員」として鍛冶職人を目指す若者が、着任から2年を迎えました。刃物の研磨・整形、研ぎを行ったり、鉋のウラ

カネ製作に日々励み、着実に伝統の技術を身に付けています。イベント活動などでも若い力をいかに発揮し、情報発信にも活躍しています。

また、後継者発掘の裾野を広げる「与板鍛冶体験工房」には、多くの方から参加していただいております。県外からの参加者が全体の6割を占めます。職人の皆様のおかげで地道な活動が実を結んだものと、関係者一同大変喜んでおります。

長岡市は昨年、次世代の起業家創出を目指し、市内の3大学1高専と関係団体が力を合わせて学生の起業支援サポートを行う「学生起業家創出モデル事業」を開始しました。ふるさと長岡の世界に誇る伝統産業を次の世代へ着実につないでいけるよう、産地と緊密に連携して取り組んでまいります。

結びに、刃物工具産業のさらなる発展と、本年が皆様にとりまして幸多い年となるよう祈念し、年頭のあいさつといたします。